



12月1日より新しい医師が入職しました



外科 副部長 東 敏弥 (ひがし としや)

【専門分野】▶消化器外科 ▶肝胆膵外科 ▶内視鏡外科

【資格】

・日本外科学会：外科専門医
・日本消化器外科学会：
消化器外科専門医、指導医、
消化器がん外科治療認定医
・日本消化器病学会：消化器病専門医
・日本内視鏡外科学会：技術認定医(肝臓)
・日本肝胆膵外科学会：
高度技能専門医、評議員

【所属学会】

・日本外科学会
・日本消化器外科学会
・日本消化器病学会
・日本内視鏡外科学会
・日本肝胆膵外科学会
・日本肝臓学会
・日本胆道学会
・日本痔臓学会
・日本臨床外科学会
・日本癌学会
・日本癌治療学会
・日本外科系連合学会
・日本乳癌学会
・日本東洋医学会
・サイエンス漢方処方研究会

【出身大学】

東京医科大学
(2010年卒業)

まつなみ Information

当院をご利用される皆さまへ、新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

引き続き、多大なご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。
各お知らせの詳細は、右のQRコードよりご確認ください。

面会制限、
夜間施錠について



発熱症状で
受診される方へ
[来院前にご確認ください]



松波総合病院柔道部のご案内

病院内柔道場にて、下記の日程で練習会を行っております。経験者はもちろん、柔道未経験の方でも基本からお教えしますので、ご家族・ご友人などお誘いあわせのうえ、柔道場へお越しください。見学だけでも大歓迎です。

日 時

毎週月曜日・木曜日(祝日は休止です)
17時30分～19時00分

場 所

文武両道館

連絡先

058-388-0111(内線 51668)
松波総合病院 柔道部監督 松井
※参加される方は、事前にご連絡ください。

ちょいスポ健康フェスタにて「上手な転び方教室」を開催しました

11月25日(土)笠松町主催の『ちょいスポ健康フェスタ2023』にて、当院柔道部が「上手な転び方教室」を実施しました。イベントでは健康づくりを推進するため、運動や健康に関するさまざまな体験ブースが設けられました。

「上手な転び方教室」では、当院柔道部所属の松井監督と松本選手が講師を務め、子どもから高齢者まで幅広い世代の方にご参加いただきました。教室では受身(うけみ:転倒した際に衝撃をやわらげるための技術)の取り方や柔道の技を取り入れた動きなどを実践。幼児～小学生を対象とした回では、保護者も一緒になって全身を使った遊びを行いました。



※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

新年明けましておめでとうございませう。心からお祝い申し上げます。今年こそは良い年になることを願いつつ2023年を振り返ると、最も心を痛める出来事はロシアによるウクライナへの侵攻が続いていること、イスラエル軍のガザ地区への侵攻でしょう。平和ボケしている日本の国民は対岸の火事と思っていますが、核を持つ北朝鮮、公然と侵攻を行うロシア、台湾有事を引き起こすかも火種のない中国はすべて隣国です。日本は火種のすぐとなり位置していることを認識すべきです。いつまでも安堵してられないといひです。

医療界にとって、コロナが5類に分類されたことは大きな出来事でした。しかし重症化する例は少ないものの依然として感染力は強い、医療機関にとっては「難」が去ったわけではありません。朗報としてはレナメブが保険適応になったことでしょう。アルツハイマーに対する抗体製剤ですが、今後、脳神経内科領域でこのような先進的な薬剤がますます導入されるでしょう。医学は常に進歩しています。

さて、2023年はコロナに悩まされながらも、多くの職員が頑張りにより、地域医療連携推進法人と、がん診療連携拠点病院を申請することができました。地域医療連携推進法人とは、一般社会のホールディングカンパニーのような組織で、私たちの場合は美濃市立美濃病院と海津市医師会立病院と組むことにより、共同で3病院を運営していくこ



社会医療法人蘇西厚生会
松波総合病院 理事長
松波 英寿

とになります。これは本院が有している社会医療法人・地域医療支援病院・臨床研修病院の使命に基づくものですが、本院にとっては医療をより広く横展開することにつながります。がん診療連携拠点病院は大変認可を得ることがむづかしい制度ですが、今後がん診療は特定の病院に集中すると思われるが故に、地域におけるがん診療の中心的役割を担い、医療内容を深化させるためにも必要なこととす。

今春には旧こども館の敷地に新しい4階建ての施設の建築が始まります。1階には最新式の放射線治療装置が入り、より高度な最新の放射線治療が可能になります。また、多目的室には畳が引き詰められることにより、高齢者や妊婦さんの運動が安全に行え、その横にはいわゆるフィットネスジムを開設するので、第8次医療計画に初めて導入される予防医学にも対応できると思います。

本年は診療報酬改定の年にもあたり、介護・福祉も同時に改定されます。世界情勢が混沌とする中、医療だけが特別扱われるはずはなく、厳しい経済情勢に対応するためには、私たちが普段行っている通常の医療を、無駄なく効率よく行うしかないと思われまふ。昨年と同じ場所、同じ時間だけ仕事をすると、より多くの患者さんに対応し、より高度な医療をしなければならぬわけですから、すべての職員はこういった事情を勘案して日々の診療に臨んでいただきたいと思ひます。

私たちがより良い、より高度な医療を行うことを社会は望んでいます。住民の期待に応える意味でも、頑張つて多難な時代を乗り切らまふ。ざっと私たちの努力は報われると信じています。さあ新たな一歩を勇気をもって踏み出しましよつ。

〒501-6062

岐阜県羽島郡笠松町田代185-1

TEL:058-388-0111(代)

FAX:058-388-4711

https://www.matsunami-hsp.or.jp



駐車場のご案内

立体駐車場への入庫は、左折のみとさせていただきます。右折入庫は渋滞の原因となりますので、右折入庫をなさらないよう、ご理解とご協力をお願いいたします。



松波総合病院 広報課
YouTube
チャンネル登録をお願いします!





社会医療法人蘇西厚生会
松波総合病院 病院長
松波 和寿



社会医療法人蘇西厚生会
松波総合病院 病院長代理
鶴見 寿

新年明けましておめでとうございます。
2024年も、皆さまにおかれましては健康で幸せな一年でありますよう、祈念いたします。
昨年5月から、新型コロナウイルス感染症（以降、新型コロナ）の感染症法上の位置付けが2類から5類に移行しました。しかし、新型コロナが完全に消失したわけではなく、当院ではご来院の皆さまに、入院患者さんへの面会制限、施設内マスク着用、検温の実施、手指消毒の実施など、引き続き感染対策の徹底を強くお願いしております。

また昨年は、物価高騰で皆さまにおかれまして、大変な1年だったかと思いますが、当院においても大変厳しい状況にありました。提供する医療の質を落とすことはできませんので、いかに無駄なく効率的に医療を提供していくかが、今後当院が地域医療に貢献していくために重要になってくるかと考えております。

さて、当院では4つの3ヶ年ビジョンを掲げ、常に念頭に置きながら、日々の診療にあたっています。

- ・「地域包括ケアシステムの要として、日本の民間病院になる。」
- ・「誇りを持って働ける職場になる。」
- ・「選ばれる病院になる。」
- ・「全職員が志を同じくし、常に変化する組織になる。」

今年は、病院機能評価の受審、医療のTQM推進協議会全国大会を当院主催での開催が控えております。全職員一丸となって、これらの行事に対応し、結束力を高め、地域中核の総合病院として、さらなる発展を遂げたいと思います。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。



社会医療法人蘇西厚生会
特別顧問
森脇 久隆

明けましておめでとうございます。
皆さまの本年のご多幸をお祈り申し上げます。

さて足掛け5年続いたコロナ禍もようやく5類感染症への移行を受け、医療体制上は落ち着いたかに見えます。しかしコロナウイルスの感染力は依然高い状態にあります。またコロナ禍中は鳴りを潜めていたインフルエンザ等各種感染症が同時に流行する状況も各地で見られ、広範囲かつ強力な感染防止の努力が続けられています。なおこのような流行は、「コロナ対策が機能し他の病原体に曝される機会も減少し、これらの病原体に対する免疫抵抗力が低下したため（免疫負債）」という考え方で主に説明されています。いずれにしても様々な感染

新年明けましておめでとうございます。
まず、地域住民の皆さま、医療関係の皆さま、職員の皆さまにとつて、より良き年になることを心からお祈り申し上げます。

さて、現在本邦では、多少減少したとはいえ新型コロナウィルス感染症が依然として流行、さらにインフルエンザ感染症なども猛威をふるっております。医療現場では院内感染への懸念という問題もあり、まだまだ気が抜けない状態です。やがてこれらの感染症の流行は沈静化すると思われませんが、新たな感染症が蔓延の可能性は十分にあります。我々は常に感染症と対峙していかなばなりません。冷静に適切な感染管理を心がけていく必要があります。一方、多くの生活習慣病、悪性腫瘍などさまざまな疾病も我々の脅威となっています。そのような中、羽島郡、岐阜市の南部地区にあるいはその周辺の住民の皆さまにとって、住み慣れた地域で、老若男女の全ての人が安心して暮らすには、地域で支え合うことができる充実した医療体制の整備とその絶え間ない維持が必要です。

新年を迎え、松波総合病院職員一同、気を引き締めて、地域連携を含めた医療体制の充実化に邁進したい所存です。今年も激動の1年になると思われませんが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

症に注意を払うことが必要な社会環境、保健・医療環境が続きます。

このように中で私ども蘇西厚生会のミッションは、地域医療に係わる皆さまと手を携え最前線に立つと同時に、広範な領域で救急・高度医療を提供することにあります。そのためには5年、10年先の人口構造を見据え、医療機関としてハード、ソフト両面の拡充を図る必要があります。すでに新棟の建設や新しい医療サービスの提供開始などが具体化しており、本年以降、順次ご覧頂く予定です。

明けましておめでとうございます。
皆さまにおかれましては、希望の新春を迎えられ、今年が健やかに暮らせる一年になれるよう祈念いたしております。

私は、2023年4月に当院の特別顧問に就任させていただきました。徐々にご病院内に馴染んできておりますが、この地域についても学んでいきたいと願っております。
昨年は新型コロナウィルス感染症が5類に移行し、社会活動もほぼ平常



社会医療法人蘇西厚生会
松波総合病院 介護老人保健施設
施設長
平山 宏史

新年明けましておめでとうございます。
本年も皆さまにとつて良き年になることを心よりお祈り申し上げます。

さて新型コロナウィルスの流行からほぼ4年が経過し、また昨年5月からは感染症法上インフ



社会医療法人蘇西厚生会
まつなみ健康増進クリニック
クリニック長
花立 史香

新年明けましておめでとうございます。
数年来、世界を大混乱に陥れた新型コロナウィルス感染症が、患者数の減少により、久しぶりに少しだけ、平穏な年末・年始を迎えることができました。しかしながら、完全な収束とはま



社会医療法人蘇西厚生会
松波総合病院
看護本部長
伊藤 妙登美

新年明けましておめでとうございます。
謹んで初春のお慶びを申し上げます。

新型コロナウィルスの流行から既に4年余り経過し、2023年の5月8日より感染症法の

ルエンザと同様に第5類に位置付けられ、「with コロナ」の時代となってきました。しかしながら高齢者施設等においては引き続き十分な感染対策が求められます。当施設においては面会制限など順次緩和をしてくておりますが、まだまだご不自由をおかけしている面もあり、何卒ご理解とご協力のほどお願いいたします。

当施設は利用者さまの心身の機能の維持回復と在宅生活への復帰支援を目的とし、家庭

だ言えず、今後も感染対策には引き続き最善を尽くします。昨年は施設内の診療科の変更、化学療法室の南館への移動で、混乱とご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。しかしこの改變により効率的で安全な医療が提供できる体制が整いました。これにより、より「質の高い医療サービス」をご提供できると自負しております。さらに、今年からは当クリニック

「2類相当」から「5類」に移行となり、個人の感染症対策を尊重する対応に軽減された世の中はコロナ禍以前の生活に戻ってきています。

当病院内では新型コロナウィルス感染症拡大予防に注意を払っていますが、新型コロナウィルス感染症は増加することもあると考えられるため、面会制限等を実施する状況が継続しています。このような中でも看護職は患者さんとその家族の立

的な雰囲気の中で健やかな生活を送ることができるよう各専門スタッフが一丸となって取り組んでおります。

また在宅生活復帰後の支援のために通所リハビリテーション部門も併設し、まつなみケアプランセンター、訪問看護ステーション、訪問介護ステーション、訪問リハビリテーション事業所とも緊密に連携をとり、質の高いサービスの提供に努めてまいり所存でございますので、本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

クでは本格的に在宅医療を開始いたします。ご自宅での安心な医療サポートを提供することで患者さまの生活の質向上に寄与したいと考えております。最後に私たちは地域に根ざした病院であり、患者さま一人ひとりに心から寄り添い、信頼される医療を提供してまいります。新しい年が皆さまにとって健康で幸福な2年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

場にたち安全・安心な医療を提供していきます。

また、地域の医療機関・介護施設等との連携を図り多職種と協働し患者さんの状態やライフスタイルに合わせた看護・介護サービスを提供できるように訪問看護・在宅診療と「ミニクリニック」を図り、より良い場に行きたいと思ひます。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

消化器内科第二部長 浅野 剛之	副院長 荒木 寛司	内科部長 安藤 量基	泌尿器科部長 石田 健一郎	低侵襲心臓外科部長 石田 成史洋	産婦人科第二部長 市古 哲	放射線診断科部長 伊原 昇	内分泌臨床研究センター長 今井 篤志
介護老人保健施設 診療部長 岩井 知彦	心臓疾患センター長 上野 勝己	麻酔科部長 江崎 善保	小児科部長 笠原 由貴子	副院長 春日井 敏夫	大動脈外科部長 河合 憲一	胆臓内科部長 河口 順二	周産期医療対策室長 川緒 市郎
形成外科部長 北澤 健	外科部長 木村 真樹	副院長 草深 裕光	心臓血管外科センター長 熊田 佳孝	不整脈科部長 香曾 我部 泰	メンタルケア科(精神科)部長 小島 久典	循環器内科部長 小島 好修	呼吸器内科部長 坂 英雄
脳神経外科部長 澤田 元史	眼科部長 末森 晋典	消化器病センター長 杉原 潤一	内科部長 杉本 浩志	副院長 諏訪 哲也	産婦人科第一部長 高木 博	副院長 田上 真	外科第二部長 堀井 航也
耳鼻咽喉科部長 永井 裕之	回復期リハビリテーション病棟部長 野々村 諭香	消化器内視鏡科部長 早崎 直行	小児科部長 林 照恵	副院長 林 慎	放射線治療科部長 林 昌秀	血液・腫瘍内科部長 原 武志	整形外科部長 日置 暁
医療管理監理役 日置 敦巳	整形外科部長 福田 雅	副院長 松波 紀行	副院長 村井 敏博	副院長 村山 正憲	副院長 森田 則彦	乳腺外科部長 森 美樹	救急総合診療科部長 八十川 雄図

本年もよろしくお願ひいたします